

海域の概要

本湾は、リアス式海岸の南部に存在する牡鹿半島頸部に位置し、女川港は我が国の主要漁港の一つとなっています。中でもギンザケの養殖は全国一の生産量を上げています。



Specification

諸元

湾口幅：2.5 km

面積：12.1 km²

湾内最大水深：3.6 m

湾口最大水深：3.6 m

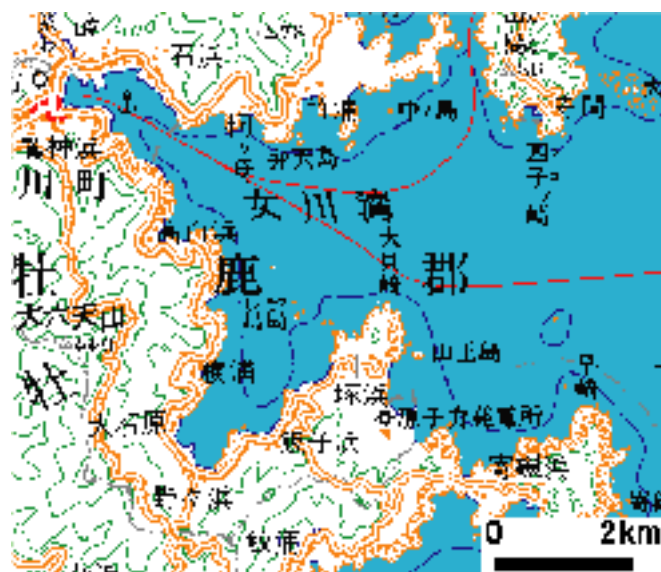
閉鎖度指標：1.39

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

宮城県牡鹿郡女川町大貝崎と同町赤根崎を結ぶ線及び陸岸により囲まれた海域。

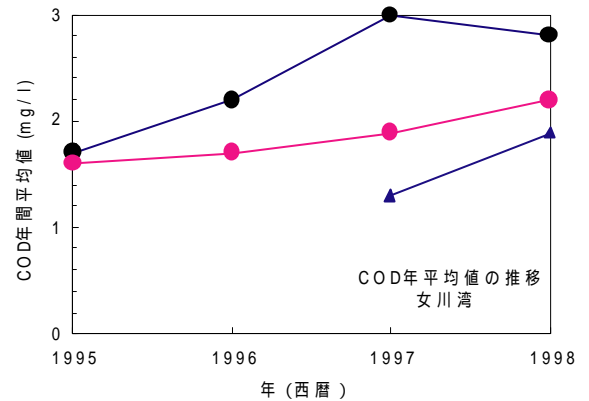


環境

全般に良好な水質を維持しているものの、湾奥の女川港では、水質の悪化が懸念されています。

COD年平均値の推移をみると、2mg/l弱から年々高い値を示す傾向にあります。

底質は、主に泥質で、岸付近は岩が露出することが多くなっています。



自然

三陸沿岸の南部に位置するリアス海岸で、湾北岸の弁天島周辺等の湾を巡る海食崖の景観や沖合に浮かぶ江島列島に代表される島嶼の景観を誇り、南三陸金華山国定公園に指定されています。湾南部には、女川湾の支湾である五部浦湾があります。

湾内には、ホンダワラ類やアラメを主体とする藻場が広がっています。

湾の沖合に浮かぶ江島列島は、二股島、平島、江島、小島、恋の島、足島、笠貝島等の島々からなり、四季穏和でウミネコ・ウトウ繁殖地として知られています。特に足島は太平洋側繁殖地の南限とされ、国の天然記念物に指定されています。また、笠貝島は、世界的にも珍しい球状はんれい岩があり、地質学上極めて貴重なものとなっています。



ウミネコ

湾北側には、これら景観を望む崎山公園があり、海岸美を中心とする景観を楽しむことができます。

湾北部の竹の浦漁港近くに浮かぶ弁天島は、錐を立てたような形をしており、頂上部に琴平さまが祭られ、出船する漁船が必ず祈願をしていくことで知られます。

女川港では、夏には女川みなとまつり、冬には水産まつりが催され、大漁祈願祭や飾り付けられた漁船による海上獅子舞などの海にかかわる催しがあります。

また、女川港には海のテーマ館であるマリナル女川があり、映像による海中探索ができます。

文化歴史

産業

女川町は、天然の良港をもつ沿岸・遠洋漁業の基地で、最近ではギンザケの養殖にも力を入れ、生産高は国内1位となっています。また、豊かな景観資源や女川港に揚がる水産物を活用した観光の街としても知られています。

特産物はギンザケ、カキ、ホヤ、ワカメ、ホタテ、ウニ、アワビ、鮮魚、サンマの昆布巻、紅ギンザケの薫製等の水産物が中心となっています。



魚市場の風景